（大正十四年十二月一日第三種郵便物認可）

平新報

發行日毎月三回五ノ日發行
福島縣石城郡平町
山野邊庄吉
發行所　福島縣平町二丁目　平新報社
廣告料五號十二字詰一行一回五十錢　場所指定倍增
一部定價金十錢送料五厘

東洋道德　夫婦之道〔一〕

松尾淵龍

緒言

一國の治亂興亡も其源を探求するときは端の男女夫婦の道の正しきと否とに發して居るのである。男女夫婦の道の紊亂は延いて士氣の廢頽となり綱紀の弛緩となり、遂には百鬼夜行の亂世を現出する事は歴史の證する所である。男女は互に其本分を忘れて他の領域を羨望し、和醇の使命を曉らずして鬪爭反抗を事とするが如きは、これ國家社會の一大不祥と云はなければならない。世態は針路をこの方に採つて居るが如き觀がある。この時弊に際して易道を示す男女の天禀と夫婦の大道を揭ぐるは敢て無用の業ではないと信じ、易理の敎へのまゝを演釋して夫婦の道を講述せんと欲するものである。併し基く所の原理や、原書の說明を附加する時は煩雜となつて一般の方には却つて解し惡くなるから省略することゝした題して東洋道德としたのは易道は東洋道德を生んだ門であるからである。

夫婦の義

造物者は男性一人に人としての完全なる全能を與へはしなかつた。又女性一人にも人としての全能を與へては置かなかつた。一男一女合體して初めて完全な人格を作り、社會の一單位を構成するやうにしておいたのである。子孫繁昌は造物者の第一の望みである。從つて又人間の第一義の使命である。

いかに優秀な智力や體力の持主であつても、男性一人で子を生む事は出來ない女性にしてもさうであるこれを以て見ても、造物者が男女各々に完全な人格機能を賦與してゐないといふ事を知るであらうが、更に後篇に述ぶる所の男女の天禀不都合を感ずる不便があつたので、それから女性には妻といふ字を使ふ用になつたのである。

妻の字は齊の字と意を通ずるもので『ひとしい』といふ意味である。男性たる夫と同等で、甲乙尊卑の差がないといふ意味である。

男女の天禀を有形のものゝ上に例へるならば、男性は人體の前面である。自己の進路に當る善惡吉凶を判別する諸器管は、人にあつては皆前面に附いてゐる。併し脊骨の附隨してゐる後面のない時には、身を支持して其の有する機能を働かす事が出來ない。この脊骨の附隨してゐる人體の後面であらう。

獨身生活は人間の公道ではない。造化の使命に反する道である。壯年の獨身者は本來の性に背く者故、表面はいかに物質に惠まれ、平穩無事に安樂なやうに見ても、その內心を探索すれば、心の奧の奧には絕えず不安や不快を感じ、何となく物足らぬ心持がして寂寥を覺えてゐるに違ひない。これは自然なら速に使命を果すようにと無音の督促又は叱責を受けてゐるからである。故に獨身者は完全な人格を具へて居らない人であると共に、自然の人間性にも反する人なのである。男女婚を結ぶ夫婦の義は以上の如き大義に據つて出來てゐるのである。

夫妻は平等

現代の女性の中には東洋の舊道德は男尊女卑道德であるといつて口を極めてその不合理を責むる人があるが、それは一を知つて二を知らない者の唱へる所である。何となれば、東洋思想は夫婦平等主義に發してゐて、夫と稱する男性は尊く妻と稱する女性は卑しい等といふ差別を毫も與へては居ないのである。その證據は文字の上に立派に殘されて光りを放つてゐる。

夫といふ字義は『たすける』『つよい』等の意味を持つてゐる。男女二人が結合して、互に天禀を以て扶けあふから强力となるといふ意味で、男女の結合したもの夫即ち『つま』と呼んだのである。結婚した女性から女性にしてもさうであるこれを以て見ても、造物者が男女各々に完全な人格機能を賦與してゐないといふ事を知るであらうが、更に後語の上にも殘つてゐて、女性から男性を指して『わがつま樣』などと稱へてゐる然し、是の如く兩方共に同一の『つま』と呼んでは甚だ不便があつたので、それから女性には妻といふ字を使ふ用になつたのである。

妻の字は齊の字と意を通ずるもので『ひとしい』といふ意味である。男性たる夫と同等で、甲乙尊卑の差がないといふ意味である。

男女の天禀を有形のものゝ上に例へるならば、男性は人體の前面である。自己の進路に當る善惡吉凶を判別する諸器管は、人にあつては皆前面に附いてゐる。併し脊骨の附隨してゐる後面のない時には、身を支持して其の有する機能を働かす事が出來ない。この脊骨の附隨してゐる人體の後面であらう。

結果から生ずるものであるは卑しく見た時曹達の流酸塩)

四、土類泉（カルチームマグネチーム流酸塩）

五、芒硝性苦味泉

六、石硬性苦味泉

七、石硬泉

八、酸性泉（草津は流酸含有を特有）

九、朋礬泉（アルミニーム流酸塩）

十、鉄泉（亞酸化鉄）

十一、綠礬泉（東北地方ニアリ）

十二、砒素泉

十三、硫黃泉（芦ノ湯塩原元湯那須ノ湯元）硫黃分離して亞硫酸を生じ鳥類を殺す故殺生石の名あり

十四、炭酸泉（拘）離炭酸の爲め泡が体に附着す泡の湯とも粟の湯とも云ふ、有馬は炭酸鉄と食塩とが主成分十五、鐵泉明礬泉等主成分により名付く

炭酸泉は飲めば胃病に良い糖尿病脂肪過多症神經痛慢性生殖器病に良し

十六、食塩含有アルカリ泉

十七、土類含有アルカリ泉

十八、食塩含有炭酸アルカリ泉胃腸病慢性氣管枝病神經痛生殖器病皮膚病咽喉病等何れも慢性病ならざる可からず

カルチーム含有泉は皮膚病に効驗あり

凡てアルカリ泉は冷えるか逆上性に良しけれども脂肪分を溶解するから防寒衣を脫た樣で凉いが食鹽含有すれば溫まる婦人生殖器病には必ず浴用器を持參する樣

其他心臟病の血管障害官能性神經病菅髓痨婦人生殖器病月經閉止困難等皮膚血管を擴張して營養を良くす。貧血病には溫熱泉が効く皮膚血管も擴張すれば骨髓血管も擴張して造血機能を旺盛にする之れは非常に肝要な事である。

アルカリ泉

內服して胃腸病肝臟病慢性咽喉病氣管枝病腎孟炎肝臟カタール輕度の血管硬化糖尿病肝臟過多痛風に効ある

カルヽス泉

腎孟炎肝臟カタルに良し

入浴方法

初めより無暗に回數を多くせば却て食慾不進倦怠或は腎臟炎を誘發し不測の禍を來す日を遂て回數を增す溫熱泉浴後は必ず冷水を浴る之れが肝要だ、そうすれば湯瘦湯冷めが必ず無い、食鹽泉は浴後拂拭してはならぬ、鹽分が皮膚に密着して其間に輕電氣が起る、夫れが効くのである。

肺病の熱ある者は必ず增惡する日本人の体溫は三十六度六分が常で其の以上は注意を要する、自分は常三十七度位常だなんて云ふのは甚だ無智である。咯血は少量でもある人は惡い、凡て五六日は療養にならぬ少くも四週間以上を要する。

『該文は重に帝大敎授眞鍋先生講演記を基として』

温泉の話

湯本町　片岡鎌三郎

温泉や海水へ行て失敗する人が中々に多い中には取返のつかぬ不幸に陷る人もある夫は吾人の体質が（病氣も含む）千差萬別である溫泉も多種多樣であるから合理的に適合する樣にすれば必ず効驗がある即ち溫泉の利用を誤らぬ樣相當知識が必要である。

溫泉浴は初め湯疲れが來て衰弱する樣になり体重も減て來る、夫れは身体組織が活動するからで同時に病的機轉も活動して却て病氣は增進するのは當然である。夫が漸々快復するのである其の快復する迄には約四週間を要する故に七日や十日では効能がある處か却て体が衰弱する故に此點は充分考へなければならぬ溫泉の一廻りは四週間である、娛樂的なら格別苟も病氣を癒すには考へ置かねばならぬ日本人は比較的規律を守らない、西洋人は嚴格だそうで、日本人は溫泉へ寢に行くのだと笑つてるそうである時など絕体に惡い、病氣は增惡する一般的に病弱を恢復するによい。

溫泉の種類

大別すれば一、炭酸泉二、流黃泉三、食塩泉

炭酸……マグネジーム

クロール……ナトリーム

流酸……カルチーム

以上の如く復雜の塩類混合し其中に生ずる（エオン）作用が効くのである故に只食鹽湯だけでは駄目である。

溫泉は元湯が効能あるが下流をくんで入浴したのでは効目がない。湯花や塩湯をたてゝも効目がない、夫れは噴出後僅の時間だけ（ラジーム放射線（エマナチオン）が含まれてるからである。

◎◎◎◎◎ラジーム（放射線）

一、アルファー線

二、ベーター線

三、ガンマー線

の三放射線（幾マッヘ）含むと計算する）其の湯を他へ持つて行つては無くなつてしまう故に昔湯元の効驗は神や佛の靈驗であるとしたのである。

溫泉浴の不可なる病氣は

一、肺結核の初期は絕体に不可

二、腎臟炎　三、凡ての出血病　四、有熱患者　五、心臟病　六、中症の初期等である。

例ひばりウマチスや關節炎は結構だが病の初期熱がある時は增惡する一般的に病弱を恢復するによい。

溫泉の種類

大別すれば一、炭酸泉二、流黃泉三、食塩泉

炭酸……マグネジーム

クロール……ナトリーム

流酸……カルチーム

以上の如く復雜の塩類混合し其中に生ずる（エオン）作用が効くのである故に只食鹽湯だけでは駄目である。

溫泉浴の不可なる病氣は

一、肺結核の初期は絕体に不可

二、腎臟炎　三、凡ての出血病　四、有熱患者　五、心臟病　六、中症の初期等である。

例ひばりウマチスや關節炎は結構だが病の初期熱があ

◎民衆本位　登記の實際
附家庭實用法律心得
民衆法令普及會發行
四六版上製上質六百二十頁
特價金貳圓參拾錢

福澤先生著
◎修業立志編
四六版二百七十頁定價金壹圓也

◎福翁自傳
四六版五百五十頁　定價金壹圓七十錢

平町二丁目
清光堂書店
電話一三一番
振替口座東京五三八八

御注文の際は迅速に御屆け致します

植田町
本町
森合醫科醫院
齋合芳男

內科
外科
一般診療
片岡醫院
湯本町驛前
片岡鎌三郎

溫泉旅館
松柏館
電話五番

理化學研究所製
吸入用酸素・酸素吸入器
優良ナル理研ノ酸素ノ用意ヲ
平町四丁目
藥劑師　關內榮助
關內藥舗
電話四〇番

霜降
小倉學生服特賣
六、七才向　金一圓也
八、九才向　金一圓十錢
十才位向　金一圓貳十錢
十一、二才向　金一圓三十錢
十二、三才向　金一圓四十錢
なかや洋服店
平貳（電話二〇三）

中元特價品大提供
◎綠濃き盛夏にふさはしい柄は？
常に流行界に努力する丸龜に！
◎スター好み草の葉染中形！
婦人世界推賞の表現浴衣地……
ボイル中形……
◎見るから清爽と凉味の溢るる
銘仙……明石縮……紹金紗
アツ……ト驚く新安値
キット御氣に召す新品
アート單帶　四十五錢ヨリ
白縮緬　七十五錢ヨリ
白正絹染　壹圓ヨリ
紹羽織絹　五圓五十錢ヨリ
紹銘仙　六圓ヨリ
金紗　十四圓五十錢ヨリ
友仙モスリン着尺……（尺）十四圓五十錢ヨリ
三圓五十錢ヨリ
◆特色のある關戸蚊張◆
麻　五六　五圓四十錢。六八　七圓二十錢
七十　九　四也。八十　十圓五十錢
中野吳服店
平町三丁目　電話六十七番

×光線科
宮田病醫院
平町南町　電話一二九番

平町田町
高久病院
電話五一三番

內科、小兒科、皮膚科
藤合醫院
平町紺屋町
電話五〇七番

磐城セメント代理店
西村屋藥舗
平西二丁目　電話三二番

日本石油株式會社特約店
營業目
內外機械油　平西三丁目
各種機械用油
各種潤滑油
各種發動機用油
各種ガソリン
各種ベンジン
各種ガソリンエンジン
各種ポンプ
各種ベルト
各種ホース
各種ゴム製品
各種ペイント
各種ニス
各種ペンキ
各種ブラシ
各種ガラス
各種ランプ
各種ストーブ
各種ガス器具
各種ガス管
各種ガス栓
各種ガス燈
各種ガス機械
各種ガス發動機
各種ガス溫水器
各種ガス湯沸器
各種ガス風呂
各種ガス爐
各種ガス焜炉
各種ガス七輪
各種ガス鍋
各種ガス釜
各種ガス鐵板
各種ガス網
各種ガス金網
各種ガス焼網
各種ガス焼鳥器
各種ガス焼魚器
各種ガス焼肉器
各種ガス焼餅器
各種ガス焼芋器
各種ガス焼栗器
各種ガス焼海苔器
各種ガス焼鮭器
各種ガス焼鯣器
各種ガス焼蒲鉾器
各種ガス焼竹輪器

磐城製糸募株

◆片倉磐城製糸も敷地買收すみとなり株式募集の段取となつた樣である、發起人の顔觸れを見ると、井上、諸橋、青沼、萩原等と吳越同舟貰ける事にほ一緒になれると見える、いや地方産業發達振興のためにはかくありたいものである。

我田引水

◆平、江名間の道路が大分良くなつた、從來自働車往復の道路は惡くなるものだが鈴木、野崎兩縣議が自動車營業者だから……序でに兩氏に御願ひしたい平、好間間や小川間マツタ湯本小名濱間も、須らく縣議立候補當時の宣言の如くにネ——

加勢知事初巡視

◆加勢本縣知事初巡視とあつて去る二日の當日平市街路を掃除すべし、荷馬車、車等放置すべからずとフレが廻つた、自動車で通る知事さんがゴミが見えるのかしら、活氣ある商況振りを見てこそ滿足すべきが爲政者の本懷ではあるまいか新知事もクダらない所へ力コブを入れるものだネ

左傾右傾

◆大分近來赤化左傾の學生連が續出する樣だが、こは智識的有産者に多く又親を妨質的有産者に持つ者に在つて苦學して力行する學生には勢い、比較的有福なる親を持つ子弟は左傾右傾等する暇なしサ

平第三小學校

平第三小學校問題は要するに兒童本位で金のかゝる事勢い方で十年後を見越してやつて欲しい

特融のハキチガイ

特融即ち補償法の惡官は預金者の不安を除き、事を未然に防ぐためであるのにそれを受けた銀行が間もなく休業する事等甚だ不合理至極な事であつて、即ち、預金、支拂準備として特融をうけながら預金者にも拂をなさず、その金を滅茶々々に使用してしまふが如きは言語同斷と申さねばならぬ、みんなこんなで同銀では吳めたのでなくそれが擔保品の處分を開始せるものゝ如くである

七十七銀減資

磐城の休業、平銀は種々な惡宣傳、遭難しおンバッイを食つて居り、第百七は半減資の所で漁夫の利を占めて居つたは七十七銀で大分取引が增加して居つたが同銀は仙臺在の東北實業銀行と共に大藏省の警告により昨四日大株主會で七十七は資本金七百萬圓に東實は五百六十萬圓に減資を決議しいづれも上半期は無配當であると

好成績の平銀行

この財界不況の難局に直面してのの平銀行は本年度前期に於て利益金八萬五千參百拾圓の年七分五厘强從前の配當成績を納めて居る、然して同銀の株主總會は來る二十二日午前十時から定款の改正、今回辭せる取締役の後任井博之、安島重三郎、常務を辭しつゝある木村清治の三氏に對する慰勞金の件等を諮る事になつて居ると調に終つたと

迷惑な惡宣傳

本紙上金融剖檢の記事につき何か關内正一氏が聲拔し居る如く推測をなすものあるとか、それが其筋の人の口から聞くに至つては言語同斷である、同氏として甚だ迷惑な事で氏は寧ろ釜屋と等しく中止をせまつた位である、兎に覺該記事については某々等が牽制すべく釜屋方面を訪問して策動せる事實がある、卑怯な事では公知の事實ある其磐城銀行豐間出張所の主任である庭○が斯した土地を所有しいれば三千に近き各預金者に此の迷惑を掛けた磐銀關係諸氏は如何である草野順平氏が豪語し居る如く果して磐銀が完全に整理を爲いて各預金者に迷惑を掛けざる樣爲し得るや否や誠に疑問と言はざるを得ないのである

金融剖檢

整理に當り誠意ありや

不良貸付、不當の相殺

休業磐城銀行の內容（三）

頃日の仄聞するに磐城銀行では當座預金と貸金との相殺はしないと言明して居るとのことであるが磐城銀行が佐藤藤助氏に一萬千五百圓の債權を讓渡し藤助氏の有する六千圓の預金と相殺したことは之れ決して

合法的行爲

と言ふ事は出來ないである、我民法五百五條に依れば『二人互ニ同種ノ目的ヲ有スル債務ヲ負擔スル場合ニ於テ双方ノ債務ガ辨濟期ニ在ルトキハ各債務者ハ其對當額ニ付キ相殺ニ因リテ其債務ヲ免ルルコトヲ得但債務ノ性質ガ之ヲ許サザルトキハ此限リニ在ラズ』とあり故に相殺は必ず其額が對當なるを要するのであるから磐城銀行が一萬千五百圓の大里氏に對する債權を

佐藤藤助

氏に讓渡し佐藤氏が磐城銀行に對し有する六千圓の預金とは對當でないから此點に於て既に合法的でないのは明らかである、一体相殺は磐銀でいなければならぬと言ふて居るとせばいなぜと言ふて居るとせば當に當だ怪しからぬと思ふ相殺は相手方の承諾を得るにあらざれば出來得ないものではない、双方の債權債務が辨濟期にあり且つ對當額に於て當事者一方の意思表示のみにて行はるものであるから磐銀

承諾の有無

は敢て問ふ處ではなく故に磐銀の債務者にして磐城銀行に預金を有する人は預金と債務が平區裁判所の競落許可決定に依り其所有權を取得したものであるから當然磐銀の所有であるべき筈なるに磐銀は之れを昭和二年六月十六日行員

植田庭躬

名義に賣買に依る所有權移轉登記を爲し庭躬は昭和二年六月十七日之れを双葉郡富岡町大字小濱字天反作六番の三田一畝十九歩大字上郡山一丁目六番田九畝十八歩外田畑山林原野宅地共八十二筆を■當として磐銀より金十五萬圓を借受け磐銀は更に該庭躬に對する抵當債權を擔保として昭和二年六月二十七日日本銀行より十四萬圓を借受け抵當權設定の附記登記を爲したものであるが前記双葉郡富岡町大字小濱字天反作六番田一畝十九歩外八十三筆の土地は元磐城銀行富岡出張所員

横內直溫

氏所有にして直溫氏沒後磐銀に借財の爲め提供したものだから磐銀の所有である事は當然である、然るに之れも亦植田庭躬の所有名義となり庭躬は前記土地に

丸山慶治

氏所有である平町字四丁目四十一番地九十八坪字田町五十七番イ號宅地百十四坪同字五十七番ロ號宅地五十八坪と併せ昭和二年五月十一日極度債權額十萬圓の根○當權を設定し磐城銀行より借受け磐城銀行は前記根■當權と外に東京市

千葉發身

の所有地にして發身は大正八年頃行金三十有餘萬圓を横領費消し現に仙臺刑務所に收容され宮城控訴院に於て審理中であるが其の代償として磐銀に提供したもので之れ亦磐銀の所有となるべき土地である事は極めて當然であるのに夫れが磐銀より十五萬圓の借入を爲した植田庭躬の擔保に倣されてあるは實に不可思議の極みである苟も銀行が自已の所有物を自已の擔保として金を貸出すとは奇怪至極である平町字仲間町一番畑三畝一歩■字二十五番畑三畝三歩休三丁目三十番宅地二百十七坪は元故

日本銀行

より金二十五萬圓を借受け尙磐銀は其所有なる平町字三丁目六番の六宅地二百九十九坪二合五勺及び建家六棟平町三丁目六番の二宅九十五坪等を根○當權を設定し東京趨町區永樂町二丁目十番地株式會社

安田銀行

より昭和三年五月十一日金十萬圓を借受け

白井博之

氏が磐銀から金を借受けるには監査役の承認を得なければならぬ、若し監査役の承認を得たものとせば其當時○當權設定の手續をしなければならぬのであるが一月十日に金を借受けたに拘らず磐銀休業の二日後即ち五月二十四日まで漫然之れが手續を爲さず五月二十四日に至り■當權設定の請求權の假登記假處分を裁判所に申請した事は實に其處に微妙不可思議なる何等かの關係あるではあるまいか如何に怠慢であり横着であるとしても一月十日に金を貸したものが

四ヶ月後

然かも休業二日後まで登記をせざる事は銀行業者としては有り得べき事ではないと思ふ

背信行爲

でなければならば

遠平翁逝

いて僅か半歲ならずして磐銀を休業しないければならぬ羽目に陷入れ三千に近き各預金者に此の迷惑を掛けた磐銀關係諸氏は如何である草野順平氏が豪語し居る如く果して磐銀が完全に整理を爲いて各預金者に迷惑を掛けざる樣爲し得るや否や誠に疑問と言はざるを得ないのである

平第三小學校敷地決定

東部と南部の二ヶ所

平第三小學校敷地問題については南町、立町兩派に分れ猛烈なる爭奪戰となり數回に亘りて町會を開きたるも決定を見ずして居りしが本五日夜滿場一致左の如く決定せるものゝ如くである。

昭和五年三月新學期迄に應急工事として正內町『立町に十二學級を新築すること、この總坪數四千二百坪以內、同時に翌六年新學期迄に五千四百坪の面積を以つて南町裏方部に同じく十二學級新築、然して東部を第三、南部を第四小學校となすものであらふ

本鄉區駒込上富士前町九番の一宅地三百二十八坪二合七勺及び同宅地內に建設しある建家二棟平町字鎌田町十八番の一宅地三百四十二坪五合五勺外田宅地十七筆及び平町四丁目四十番地內建家三棟字田町五十七番五十七番て地內建家三棟字鎌田町十八番十七番地內建家五棟平町大工町二十二番宅地貳百十九坪同宅地內に建設しある建家一棟字三丁目三十番地內建家三棟の磐銀に對する■當債權を擔保として

言語同斷

沙汰の限りと云ふの外はあるまい殊に見逃す事の出來ぬのは磐銀取締役にして現農工銀行頭取である白井博之氏は昭和三年一月十日平町字紺屋町十二番イ甲宅地三百四十九坪を■當權設定を爲す契約の下に金二萬五千圓又字紺屋町十七番貳宅地三十六坪の抵當權設定契約の下に貳萬五千圓を借受けたが其抵當權設定登記手續を爲さざるとて昭和三年五月二十四日磐城銀行は平區裁判所に○當權設定の請求權の假登記假處分命令の申請を爲したのである取締役である白井博之氏は

債權債務

を相消せしこの頃は僕の顏も住所も判つて吳れた樣ですから……『此の處許性の敎育か』磐銀にあづけておく滑川さんの育英資金問題ですが何とか方法ないものですか、未亡人もサゾ一人で心配して居る事だらふと思ふが……白井、草野氏等の德義に賴んで義俠を出して貰ひんものか、僕が第一責任者ですからネ、兒に角善後策を講せねばなるまい。

緑蔭閑話

滑川氏遺族

育英資金問題

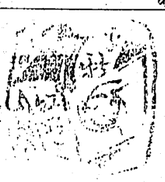
善後策を講ぜよう

磐中校長　唐土齊治氏

四日於磐中校長室

◆どうです學生の風紀について何か耳にしませんか、當校は滊車通學の生徒四百餘名の約半數もあるから始業が七時二十分ですよ、中學校の先生は午後三時になると歸宅さるゝ樣ですから樂ですネとある人が申しましたがなか〳〵以つて今日七時の出勤は樂ぢやない、先づ五時に起きんけりやならんネ、時折生徒中に二三の遲刻者があるので言ふのですが、僕は每朝洗面をせぬ前新聞を見る『僕らが起きん前から新聞を配つて吳れる人もあるのだからネ』

◆官舍は住み心良いと言ふのかそうでもない、還境が良い、例の南町です、どうもよ、例の南町です、どうもよ、彼女等は新川遊りまでクリ出して……小供の敎養に良い事はない、時折急行の夜の二時頃歩るくと何だか變に思はれはせぬかとネ、然るに吉野家の多助は暫らく越の家に居つた樣だ故郷の新潟へか、又は東京根岸の時の家へかどつち道平の家のトミ子今ぢやマアザーとなつてバラソルに赤ちやんを背にしての平町歩きさぞ感慨無量テな事でせうね◆次に同じく眞佐の家の小政東京の古巢へ歸つたとか◆來る五日披露に及んだは開花より梅花と名乘る例の曲藝おかつさんの娘で東下り◆時に甲子の小玉姐さんは富美の家の看板を買つて叶家として妹照子外一名と自らは自前藝妓を開業して居る◆小玉は藝妓を止めておかみだからと呼ばぬとかそんな事申さぬで呼んで下さいと哀願して居るとか◆三島家の千賀子ぼんの名繼しく湯本古巢歸り



◆花榮去り又花見鎌が去つて花々しい妓が減つ長一安藤嘉信奥山成藏了八幡中川兒一大工上野鐵之助四軒佐々木龍若二三福大谷紺青天目增藏石川俊南高橋利太郎高橋勝治才高橋業鈴木高野釜亮鈴木研二麻川江口忠一石川友次郎石川忠二田海老屋主人田北川秀勇一山崎德次郎二谷口仁太郎二柴山德二四松本榮一三藤沼平次郎山家重吉一關原新田目善次郎南龜山晴治十五齋藤覺三梅原利三郎選沼龍輔南横山顯紺板本喜一

平第一期下水工事

田町より二丁目新川へ

モルタル圓筒型二百間

工費一萬三千圓八月起工

市制準備を控えての平町は出つる延間數二百七間圓筒總べての方面から大平市街の經四尺五寸、起工は縣の補助認下の下り次第來る八建設に向つて進んで居る。上水道の完備、公園の開施月頃着手の豫定にして工程すでに貳拾年近く只下水道約四十日間十月末迄には竣工、工費約一萬三千圓同工事の土の捨て場所は新町役が此處に該下水工事第一期場の敷地へ盛り土する等一致兩得の工事をなし得るも申すべき、圓筒モルタル型の下水が一部起工するの事になつた、それは大田町因みに工事費の內譯は詳知日進堂支店より西へ赤心堂するを得ぬも町負擔と縣補側をへて南へ田町と二丁目助合せて他は關係地主の寄界の堀に出で西村屋藥舗の附を以つてなすものの如く西側路を南に二丁目一丁目の間谷口通りを南へ新川に

磐城育英會

新布貸付を中止

財團法人磐城育英會は去月二十四日磐城訓盲院にて役員會を開きて協議をなしたが磐銀休業のため新貸付をなすを得ぬ事になつた、即ち從來の七名にして資金を聞くに從來の資金中磐銀へ豫金のもの六千四十二圓、平銀への分二千八百九十六圓で過般故白井遠平翁の遺志に基く壹萬圓は磐銀へ七千圓平銀へ三千圓にして磐銀の分は當にせず平銀の分のみにて貸與の方針を採りたるものゝ如くである。思ふに磐銀の休業はどこまで波及するや知るべからずで育英事業にまで影響しつゝあるもので東京高師文科地歷に在學中の磐中廿七回卒業夏井出身の大和田道隆君は同會より新らしく八月より借用出來得るものとして四月より七月まで釜屋商店の筥志により在學しつゝあるが前途の學費をあやぶまれて居ると。

平町本年度前期

特別戶數割賦課額

賦課總人員四千六百餘

うち二百圓以上の人々

決定せる平町本年度前期特別稅戶數割賦課總額は四萬七千六百六十圓五十錢で賦課人員四千六百三十二人にして內百圓以上を賦課する人々は左の如くである。

賦課額氏名

一二九六円〇五　諸橋久太郎
九二六、七二　山崎與三郎
八六七、五七　百澤易
七八一、一四　堀江正直
六五五、〇五　酒井秀次郎
六五一、七二　中野勇吉
四五七、四三　吉田由三郎
四〇三、八一　平松武
三九一、八一　鈴木堅
三五一、八〇　久野助
三三〇、〇七　關內正一
三一九、五六　明智淺吉
三一三、八九　根本善
二六、五〇　馬目玉彌
二〇七、五六　丸山慶治
田中島謙次郎
田酒井孟
二田卷清
榮藏
大熊主人
二萬藏樓
五十嵐小平
五十嵐酒店
五十嵐武信
後藤信吾
田五十嵐
田鈴木重助
二鈴木倉藏
二應崎堅次
二松田貞衛
南卯次郎
白高橋龜松
二柏原眞吾
田吉貫利助
四三井富吉
二田卷榮藏
田酒井清
鍛冶田合津耕作
銀小野幸次郎
紺吉田伴
田青田目源一郎
田石坂一男
南涌井長吉
田石坂詮太郎
鍛南佐藤作平

御免

氣をつけ！

右へ並へ番號

砲聲

指揮官　山崎清三五尺六寸

同　猪狩清五尺六寸

為善　六尺一寸

六、一〇〇

五、九五

五、八五

五、八〇

五、七〇

五、七〇

五、七